

# 保育現場と授業「健康の指導」との横断的連携による 造形表現力の育成 —「あゆのこ保育園 15 分ステージ」を通して—

大塚 習平 小笠原 大輔<sup>a</sup>

<sup>a</sup> 湘北短期大学保育学科

## 【抄録】

授業「造形Ⅱ」では毎年、保育現場で必要とされる教材について学生一人一人が考案し、制作している。そして関連施設での「あゆのこ 15 分ステージ」を通して、二段階表現（制作物を応用した表現）に取り組む事で、実践的な学びを得ている。

今回は、あゆのこ保育園との連携に加え、授業「健康の指導」とコラボレーションする事によって、更なる実践力を得る事を試みた。

## 【キーワード】

造形表現 表現発表 保育現場との連携 健康の指導

本学保育学科では約 10 年間、2 年生後期選択授業「造形Ⅱ」において、関連施設「あゆのこ保育園」での発表（以下「あゆのこ 15 分ステージ」とする）に取り組んできた。

一般的な造形関係の授業では、造形物を完成させ、制作ファイルやポートレートをまとめた時点で終了とみなすことが多い。しかし、保育を学ぶ学生の場合、これとは異なり、授業「造形」の最終的な目的は、制作したものを「教材」とし、子ども達に教示したり発表したりすることにある。

こうした目的を踏まえ、「造形Ⅱ」では保育現場で活用できる造形物<sup>1)</sup>を制作し、完成した作品を活用して「あゆのこ保育園」で発表し、子ども

たちの反応を確認し、保育者からの評価も得ながら、制作物について検証してきた。さらに、今回は授業「健康の指導」との連携もあり、授業内容に厚みが増したと考えられる。

本稿では、このような取り組みを通して、学生にどのような力が身についたと考えられるか、これまでの授業内容について振り返るとともに、今後の授業のあり方について考察を加えた。

## 1. 授業のねらい

選択授業「造形Ⅱ」は、1 年次における必修授業「造形」を修得し、造形要素の基本的内容について理解し、経験している学生が受講することを条件としている。必修科目「造形」では、シラバス（資料 1）に示している通り、様々な材料や用

---

<連絡先>

大塚 習平 otsukas@tcu.ac.jp

具に触れる機会をできるだけ多くすることで、幅広い造形表現について学ぶとともに、「ものづくり」を通して学生一人一人の美的感性を育みながら、制作したものをどのようにして子ども達へ提供していくかを学んでいる。

そして「造形Ⅱ」は、1年次「造形」と同様、授業における「ものづくり」がベースとなっているが、制作活動のみに終始せず、制作したものを利用した表現活動の構築をねらいとしている。具体的には、自身が制作したものをを用いて、子ども達に「よりわかりやすく具体的に伝えていく」ということである。つまり「造形Ⅱ」は通常行われる「図画工作」や「美術」のように「作品を完成させること」が最終的な目標ではなく「制作したものをを用いて表現する」という、2段階表現がねらいとなる。

## 2. 作品制作について

2年次後期 選択科目「造形Ⅱ」は、毎年平均して約100名の学生を、2人の教員が2つの教室で分担するかたちで展開している。

「造形Ⅱ」は2004年から2018年の現在まで大きく分けて3つの授業形態の推移があった。

### 第一期（2004年～2010年）

以下の4つの課題から一つ選択し、主体的に取り組むかたち。（複数選択も可とした）

- ①「教育・保育指導のための制作」（14コマ）  
（ex. パネルシアターやペープサート等）
- ②「教育・保育環境のための制作」（14コマ）  
（ex. 日めくりカレンダーやお道具箱、お当番表や壁面構成等）
- ③「教材研究のための制作」（14コマ）  
（ex. 季節ごとの教材や発達段階ごとの教材制作等）

### ④「芸術制作」（14コマ）

（ex. 絵画や彫塑やデザインや工芸等）

### ⑤「振返りカード作成」（1コマ）

この第一期では、あゆのこ保育園での発表は①「教育・保育指導のための制作」選択者で且つ発表を希望する学生により実施した。保育現場では、1クラスで複数の発表を行うこともあった。

### 第二期（2011年～2016年）

- ①「日めくりカレンダー制作」（前半7コマ）
- ②「表現発表を前提とした制作」（後半7コマ）
- ③「振返りカード作成」（1コマ）

第二期では、あゆのこ保育園での発表は「発表予定日までに作品が完成しており、発表意欲があり、且つ発表準備が整っている学生が複数名で行う」とした。さらに「1クラスで15分間、お昼寝前に1日1テーマのみ発表できる」という条件が、あゆのこ保育園より課された。

### 第三期（2017年～現在）

- ①「表現発表を前提とした制作」（前半7コマ）
- ②「日めくりカレンダー」（後半7コマ）
- ③「振返りカード作成」（1コマ）

第三期では、あゆのこ保育園での発表に軸足を置き、制作時期を早め、学生達が取り組んでいる作品テーマを一覧表にしてあゆのこ保育園にお知らせし、前もって先生方にご検討いただいた。そして、あゆのこ保育園からの上演リクエストによって選ばれた学生は、各自が2～4名程度のチームを結成し、保育園で発表するようにした。尚、上演リクエストについては、子ども達の発達段階や生活の状況を鑑み、1月の上演時期に最も相応しいと考えられる内容を選択していただいた。

「あゆのこ15分ステージ」実施状況について振

返してみると、第一期では選択肢が多かったため、①から④に学生が分散してしまい、「あゆのこ保育園」で発表する学生は、全体の約3割程度という状況だった。

そこで第二期では、全員が表現発表を前提とした制作に取り組むこととした。これにより、「あゆのこ保育園」で上演可能な学生は約半数まで上がった。しかし新たな問題として、発表日までに完成できない学生が数名出たり、園との連絡・調整が発表直前となってしまったり、学生が考案した「発表テーマ」と対象クラスの発達段階がずれてしまったり、園からのコメントや学生自身の振返りの時期が遅くなり、後で個別に行うことになったりした。

こうした反省点を解決するため、第三期となる今年度は前半7コマを「発表のための制作」、後半7コマを「日めくりカレンダー制作」に時期を逆にして充ててみた。その結果、学生が取り組もうとしているテーマを一覧表（資料2）にまとめることができた。さらに「あゆのこ保育園」との連絡・調整に十分な時間をかけることができようになり、園側で1月の発表時期に「上演して欲しいテーマ」を明確にすることができた。加えて、2年生後期授業「健康の指導」との横断的連携もとれるようになった。

### 3. 授業「健康の指導」との連携

前述した通り、今年度は「健康の指導」における課題「健康に生活するために大切なこと」（資料3）と「造形Ⅱ」の課題「制作したものを教材とした表現」をリンクさせ、制作に結びつけた学生が多く散見された。勿論、担当教員間の事前打ち合わせがあつての事である。

「健康の指導」におけるテーマは、保育現場でも日常的に指導されている内容が多い。そして今

年度は、学生達によって151個の教材作品（資料4）が制作された。

### 4. 保育現場からの要望

平成28年度の「造形Ⅱ」では、2年次後期7回目の授業終了時、学生から提出された「作品テーマ」を一覧表（資料2）にまとめ、「あゆのこ保育園」に打診した。そうしたところ、保育園では各学年・各クラスご担当の先生方より、1月の「あゆのこ15分ステージ」公演時期に相応しく、演じてもらいたい演目について要望があった。それは（図1）から（図11）までの11項目である。



図1 「ピンポン」 シルエット紙芝居（動物の種類に関する教材）2歳児



図2-1 「パンダ」ハンドパペット・2歳児

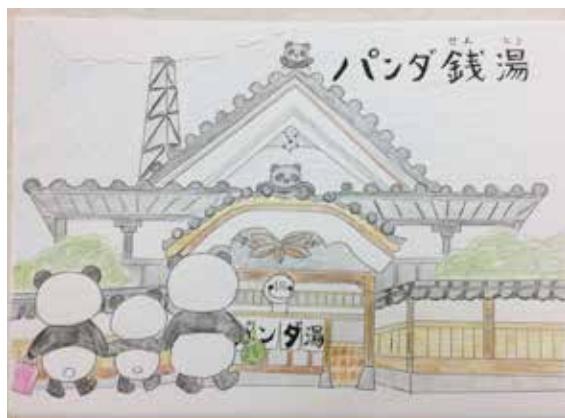


図2-2 「パンダ銭湯」紙芝居・2歳児



図5 「こうつうあんぜん」ペープサート（交通安全に関する教材）4歳児



図3 「あさごはんをたべよう」パネルシアター（食育と生活習慣に関する教材）3歳児クラス



図6 「おっとあぶないモンちゃん、キーちゃん」紙芝居（園内における危険個所に関する教材）・4歳児



図4 「うっかりウサギとたしかめカメさん」パネルシアター（交通安全に関する教材）3歳



図7 「おそとであそぶときは」パネルシアター（屋外における危険個所についての教材）5歳児





図8 「なんでそとあそびはたいせつなの」パネルシアター（屋外遊びの重要性についての教材）5歳児



図9 「とけい」（時計の見方や時間、生活リズムに関する教材）5歳児クラス



図10 「知らないひとにきをつけて」紙芝居（生活の中に潜む危険性に関する教材）5歳児クラス



図11 「カモのおひっこし」紙芝居（交通ルールについて知る）5歳児クラス

## 5 保育現場での検証

本学の関連施設である「あゆのこ保育園」では、2歳児は11時45分から、3・4歳児は12時45分から午睡に入る。その15分前に学生による「あゆのこ15分ステージ」を実施させていただいてる。

前述した第1期では、15分間ではなく複数のテーマを実施させていただいていた。しかし、そのような実施方法だと、子ども達が疲れてしまい、印象が曖昧になったり、あるいは最後に実施したものだけが印象に残ったりしてしまうということとで、第2期以降は15分間で一つのテーマを実施する流れとなった。

ただ、そうしたやり方だと、保育現場で初めて子ども達と対面する学生は萎縮してしまい、子ども達への対応がスムーズにできなかったり、上演後の客観的な評価ができなかったりといったストレスが大きいことが問題となった。

そこで第三期では、学生同士でチームを編成して上演させることとした。具体的には「導入→展開→まとめ」の流れを踏襲し、主担当が「展開」部分を担う事として、「導入」や「まとめ」の部

分は補助学生が担うようにした。この方法によって、学生のストレスは軽減し、さらに「導入」部分でのペープサート（図12）や手遊び（図13）、パペット（図14-1,14-2）、ピアノ演奏（図15）など表現の幅を広げることができた。

また、子ども達にとっても、初対面で緊張した面持ちの学生に話しかけられるより、複数名の学生が演じる（図16-1,16-2）ことで、賑やかで打ち解けやすい雰囲気が醸し出されたと考えられる。

さらに今回は、仕掛け紙芝居（図17）を制作・上演した学生がいたが、作品自体の完成度の高さと落ち着いた語りかけにより子ども達の興味・関心が高まっている様子が窺われた。このことから、作品に注がれた情熱に対する感動や称賛や愛着は、大人も子どもも変わらないということを窺い知ることができた。

## 6. アンケート調査について

関連施設「あゆのこ保育園」で上演する利点の一つとして上演後にクラス担当の先生よりコメントを頂ける事が挙げられる。



図14-1 パペットによる語りかけ



図12 ペープサートとピアノによる導入



図14-2 パペットによる語りかけ



図13 手遊びによる導入



図15 ピアノ演奏に合わせたクイズ





図 16-1 主担当 2 名によるパネルシアター



図 16-2 主担当 3 名によるパネルシアター



図 17 仕掛け紙芝居とペープサート

卒業生が多いので、その分丁寧に見ていただける上に、手書きのお便りを頂く事ができる。

アンケート調査によれば、経験豊かな現場教員よりコメント（資料5）を頂く事により、学生は自らの上演について落ち着いて振返る事ができ、さらに現場での上演に対するモチベーションを高

めて行く事ができた（資料6）ことが窺える。

## 7. 考察

平成 29 年度の授業「造形Ⅱ」では、課題の順序を入れ替えた事によって、あゆのこ保育園からのリクエストを受ける事が可能となった。これに伴い、園児の 1 月の発達段階に適切な内容を把握し、伝える事ができた。

リクエストによって選出された学生は、保育現場からの声に応えるかたちで、子ども達に伝えなければならない内容であるという緊張感と自覚を持つ事ができたと考えられる。

しかし、保育現場からのリクエストに応えるかたちをとる事によって、演目に偏りが生ずることも確認できた。加えて、学生が純粋に（物語等を）演じたいと思う作品を演じる事ができなくなってしまいうことも考慮すべき問題である。さらに、リクエストに応える事を優先すると、演じる事に意欲を持っていない学生が発表する場面も生ずる可能性がある。

これらの問題点に関しては、リクエスト5つとすれば学生希望者5つというようにバランスをとるながら調整したり、公演時期を延長して、多くの学生が上演できるように日程を調整したりすることで対応していきたい。

また今回は「基本的生活習慣」、「交通ルール」、「園生活での約束」、「躰」、「マナー」などにリクエストが偏ったが、普段から口を酸っぱくして指導している内容について、学生による公演という別のかたちで伝える事に効果を期待しての事であると考えられる。逆に、物語や絵本の内容についてリクエストが無かったのは、普段から読み聞かせを行っていたり、子ども達が直接触れる機会が多くあるため、特別に学生に演じてもらう必要性を感じなかったからではと推察される。

さらに、前述した通り平成29年度後期では、授業「造形Ⅱ」と授業「健康の指導」とのコラボレーションがなされた訳であるが、演目について振返ってみると、保育現場で必要とされる演目は「健康の指導」のテーマに集中している事が分かる。

この結果をもとに今後は、①季節や行事に関わること②子ども達に身に付けてもらいたいこと③安全に関わること④子ども達に聞かせてあげたい物語について、バランスを考えて検討して行きたいと思う。

また、発表に関していえば園児の前で発表する前に、既に「健康の指導」の授業内で各自が他の学生対象に実演をし、互いに反省点や改善点などの意見交換を行っていたり、担当教員による専門的な指導が行われたりしたことから、それらを活かして本番に臨めていたように感じられた。やはり発表の場を複数回設けることは、学生の学びにとって有効であると改めて感じた。

## 8. 謝辞

「あゆのこ15分ステージ」実施に際しましては、あゆのこ保育園の町田園長ならびに福田副園長はじめ保育士の先生方に、大変お世話になりました。園行事で忙しい時期にも関わらず、演目リストに目を通していただき、リクエストをお寄せいただきました。日程調整も長期に渡って検討を繰り返していただきました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

## 註

<sup>1)</sup> 具体的には、パネルシアター、エプロンシアター、パペット、マリオネット、指人形、靴下人形、フェルト人形、紙袋人形、牛乳パック人形、紙芝居、絵本、スケッチブックシアター、手品道具等が

あり、子ども達の関心を集めたり、モチベーションを挙げたりする際に活用できる。

<sup>2)</sup> 授業「健康の指導」では、子ども達が健康で安全な生活を送るために必要とされる基本的生活習慣や社会規範やしつけなどの内容について、理解しやすいようにするため、造形物を活用する学生が多く散見される。資料4からも分かるように今年度の作品数は151個に及んでいる。

## 参考文献

- 幼稚園教育要領 文部科学省 平成20年3月28日改訂 平成21年4月1日施行  
保育所保育指針 厚生労働省 平成20年3月28日改訂 平成21年4月1日施行  
保育をひらく造形表現 槇英子 萌文書林 2008



保育現場と授業「健康の指導」との横断的連携による造形表現力の育成

科 目 名 (英語名)	造形 PLASTIC ART	科目コード		(ふりがな) 担 当 者	おおつかしゅうへい 大塚習平	専任・非常勤
		233295				専任
2単位	開講期	通年	授業方法	実習・演習		
[履修条件、準備等]						
スケッチブック (F 4) 画鉛筆B 色鉛筆 ネームペン 定規 はさみ カッターナイフ スティックのり ステープラ 汚れても構わない服装、靴						
[授業の具体的到達目標]						
・造形表現の意義について体験を通して理解する ・素材や技法について体験を通して理解する ・「協働学習」の意義についてグループワークを通して理解する						
[授業の概要]						
保育現場で必要とされる造形的な知識・技術・能力の基本となる内容について、様々な素材・用具・技法を用いながら、体験を通して学んでいく。後期は「表現発表プロジェクト step2」や「協働学習」に取り組んでいく。 ※制作状況に応じて、順序や時間数が変更になる事があります。 ※過去の授業資料をファイルしていますので、自主的に教材研究ができます。						
[授業計画]			[担当]	[授業計画]		[担当]
1回	ガイダンス (造形の目的)			16回	表現発表P J デザインについて	※1
2回	教科書 スケッチブックについて			17回	表現発表P J 制作	
3回	12色相環①			18回	表現発表P J 制作	
4回	12色相環②			19回	表現発表P J 制作	
5回	色相対比と色の効果について			20回	表現発表P J 振り返り	
6回	小麦粉粘土			21回	壁面構成① 協働学習について	
7回	テラコッタ粘土① 練り			22回	壁面構成② 個人原案	
8回	テラコッタ粘土②アイデアスケッチ			23回	壁面構成③ グループ原案	
9回	テラコッタ粘土③ 成形			24回	壁面制作④ 裏打ち	
10回	マーブリング			25回	壁面構成⑤ テクスチャー検討	
11回	テラコッタ粘土④ 施釉			26回	壁面構成⑥ パーツ制作1	
12回	にじみ絵 吹き絵 染紙			27回	壁面構成⑦ パーツ制作2	
13回	デカルコマニー			28回	壁面構成⑧ パーツ制作3	
14回	作品写真鑑賞 フロッタージュ			29回	作品撮影 振り返り	
15回	前期振り返り まとめ			30回	作品鑑賞 まとめ アンケート記入	
試験等	スケッチブック提出			試験等	スケッチブック提出	
[成績評価]						
「関心・意欲・態度」25% 「丁寧さ・完成度」25% 「アイデア・独創性」25% 「理解度・協調性」25%						
[準備学習 (予習・復習等) の内容]						
授業外でも「教室使用願い」提出により、教室を使用できます。スケッチブックのまとめに活用して下さい。						
	書 名		著 者		出 版 社	
テキスト	保育をひらく造形表現		横 英子		萌文書林	
	スケッチブック (F 4)				美術出版社	
参考文献	楽しい造形表現		子どもの造形表現研究会		圭文社	
	造形表現		花簗寛・岡田敬吾		三晃書房	
[備考] 2名以上の複数担当者、マルチメディアの利用、オフィスアワー等						
・上記以外の担当者 (非常勤講師 三上 慧)						
・立体作品の撮影は各自で背景を工夫して行うため、宿題となります。						
・課題の進行速度により、スケッチブックをまとめる為の時間があります。						
※1授業は131 教室と132 教室で同時並行して行い、ひと月ごとの入れ替え制となります。						

資料1

種類	タイトル	対象年齢	概要	リクエスト
エブロンシアター	キリンさんのいちにち	3～5	早寝早起きの大切さ	
エブロンシアター	はらぺこかいじゅう	3～5	食育	
パネルシアター	3匹のこぶた	3～5	物語	
パネルシアター	あいさつあそび	3～5	挨拶の使い分け	
パネルシアター	朝ごはんをたべよう	3～5	朝ごはんの大切さ	3歳児
パネルシアター	うっかりウサギとたしかめカメさん	3～5	交通安全	3歳児
パネルシアター	おそとであそぶときは？	3～5	屋外での事故防止	5歳児
パネルシアター	お誕生日おめでとう	3～5	ケーキのデコレーション	
パネルシアター	きけんどうぶつ	3～5	危険な動物について知る	
パネルシアター	くうちゃんのおきがえ	3～5	衣服の着脱	
パネルシアター	じぶんでおきがえしてみよう	3～5	衣服の着脱	
パネルシアター	どうやってきがえる？	4	質問形式で	
パネルシアター	しらゆきひめ	3～5	物語	
パネルシアター	すうじのうた	3・4	数字を覚える	
パネルシアター	そとあそび	3～5	外遊びの大切さ	
パネルシアター	なんでそとあそびはだいじなの	5	外遊びの大切さ	5歳児
パネルシアター	はらぺこあおむし	2～4	手遊び	
パネルシアター	はらぺこあおむし	3～5	物語	
パネルシアター	ピンポン	3～5	シルエットクイズ	2歳児
黒板シアター	しょくちゅうどくに気をつけて	3～5	食中毒予防	
手袋シアター	カレーライス	3～5	歌いながら食育	
バベット	そとであそぼう！	5	外遊びの大切さ	
バベット	パンダ	3・4	清潔の大切さ	2歳児
ベープサート	はやねはやおき	3～5	早寝早起きの大切さ	
ベープサート	あさごはんしっかり食べよう	3～5	朝ごはんの大切さ	
ベープサート	すききらいはだめだよ	3～5	バランスの良い食事	
ベープサート	はみがきをしよう	3～5	歯みがきの習慣	
ベープサート	じょうずにトイレできるかな	3・5	トイレの練習	
ベープサート	あそんだあとは…	3～5	清潔（汗をかいたら着替え）	
ベープサート	てあらいがよい	3～5	清潔の大切さ	
ベープサート	どうぶつくんのきがえ		衣類の着脱	
ベープサート	こうつうあんぜん	3～5	ルール of の大切さ	4歳児
ベープサート	どうぶつくんがかぜをひいたら	3～5	風邪予防	
ベープサート	とけい	3～5	時間について	5歳児
ベープサート	ぼうさいくんれん	3～5	訓練の「導入」	
紙芝居	おっとあぶない！モンちゃんキーちゃん	3・4	保育室内の事故防止	4歳児
紙芝居	かぜヒッキーをやっつけろ	3～5	風邪予防	
紙芝居	カレーライス	3～5	バランスのとれた食事	
紙芝居	なんでもたべよう	4・5	バランスのとれた食事	
紙芝居	くまくんのあさごはんとうばん	4	早寝早起き朝ごはん	
紙芝居	こうつうあんぜん	3～5	交通ルールについて知る	
紙芝居	とまって！キットンくん	4	交通安全への対応	
紙芝居	しらないひとにきをつけて	5	不審者への対応	5歳児
紙芝居	はじめてのおるすばん	5	不審者への対応	
紙芝居	そとあそび	3～5	外遊びの大切さ	
紙芝居	にんじゃせんせい いざまる	3～5	防災教育	
紙芝居	はみがきしよう	3～5	歯みがきの大切さ	
紙芝居	はやねはやおき	3～5	健康・生活習慣	
紙芝居	もしものもんもんがきた	3・4	屋内での事故防止	

資料2 「作品タイトルとあゆのこ保育園からのリクエスト一覧」

保育現場と授業「健康の指導」との横断的連携による造形表現力の育成

		aクラス		bクラス		cクラス		dクラス	
番号	テーマ	学籍番号							
1	外遊びの大切さ	113	114	150	157	181	190	225	231
2	バランスのとれた食事	106	107	155	138	173	182	227	222
3	歯磨き	104	132	134	165	186	169	232	211
4	生活リズム(早寝早起き)	103	119	149	137	197	171	207	230
5	朝ごはん	131	128	145	143	180	185	－	229
6	衣服の着脱	127	126	148	161	196	198	212	204
7	清潔	112	115	162	164	178	187	218	205
8	排泄	102	－	156	139	168	199	224	203
9	風邪予防	120	117	167	136	170	191	201	213
10	夏バテ予防	123	116	142	146	194	179	233	219
11	交通安全	105	125	158	144	183	188	226	221
12	水分補給(熱中症予防)	109	133	152	140	195	－	208	202
13	屋内での事故・安全教育	121	111	163	159	184	174	234	220
14	屋外での事故・安全教育	130	－	151	154	193	192	206	223
15	災害・避難訓練	124	118	141	147	177	172	215	209
16	不審者に対する行動	110	101	166	153	200	175	217	228
17	※選択	129	122	160	135	176	189	216	210

「－」は抽選で欠番。

資料3 「健康の指導」 テーマ一覧表

スケッチブックシアター	32
スケッチブックシアター(仕掛け有)	11
ペープサート	25
パペット	8
既成パペット	1
貼り物	11
マグネット	9
紙工作	8
画用紙	3
紙芝居	31
紙芝居(仕掛け有)	4
イラスト	1
既成本・既成紙芝居	4
紙粘土	1
エプロンシアター	2

合計(作品数)	151
組み合わせて使用(人数)	38

資料4 授業「健康の指導」における制作物一覧

種類	タイトル	内容	対象	日に ち	時間	保育士よりコメント
パネル シアター	ピンポーン	シルエッ トクイズ	2歳 児	1/15 (月)	11: 30～	「グーチョキパー」の手遊びの動物とパネルシアターに出てきた動物を関連させていたところがとてもよかったと思います。内容も2歳児の子どもによく分かるもので動物が好きな子ども達も喜んでいました。終わった後「また見たい」と話す子もいました。パネルシアターで出てきた動物を1回ずつ後ろに戻すのではなく扉の周りに付けてあげると遊びに来た動物が増えていく様子が分かりより楽しめるのではないかと思います。
パペット	パンダ	清潔の大 切さ	2歳 児	1/17 (水)	11: 30～	パンダのパペットと紙芝居を使って話をするアイデアはとても新鮮で、子ども達も集中してよく見ていました。子ども達へ問いかかけをしながら話を進めていきちゃんとその言葉も拾っていてよかったです。パペットの着替えの場面では紙芝居をさりげなく伏せるとよりパペットに注目が集まり集中して見られたり、その場面以外でも紙芝居の内容と合わせてパペットも少し動かすとより楽しいものになると思いました。

パネル シアター	朝ごはんを たべよう	朝ごはん の大切さ	3歳 児	1/15 (月)	12: 30～	導入の手遊び、親しみのあるものだったので子ども達が興味を持ったと思います。3人とも歌詞の違いがあったので、一緒にやる場ではそろえた方がいいと思います。パネルシアターのテーマが、今子供たちに伝えたい内容だったので良かったです。クイズ形式もただ聞くだけよりは飽きずに集中して見られるので良い工夫だったように思います。気付かれたと思いますが、パネルよりも床に置いてある不織布に興味が行ってしまいました。伏せるか見えないうちに置くと良かったと思います。登場した男の子と〇の色が同色だったので、色は変えた方が見やすかったかもしれません。絵本や紙芝居を読む時は、目線の高さや周りの環境を整えることも意識しています。
パネル シアター	うっかり ウサギと たしかめ カメラさん	交通安全	3歳 児	1/18 (木)	12: 30～	導入のしっぽ当てクイズとても楽しんでいたのが良かったです。子どもが答えた後に「当たり!」と言うだけでなく、正解の名前(例えば「ゾウでした!」等)を言っていたけるとより分かりやすかったと思います。意外と分かっている子もいました。パネルシアターでは複数人でやっていることもあり、画面上で腕が絡まってしまう場面もありました。大変かとは思いますが、複数で行う場合、もう少し打ち合わせをし、すっきり見せられるようになるとより良かったと思います。また絵本のふちが細いように感じました。くっきりと太い方がメリハリがつき、端で見て子どもにも伝わりやすくなるかもしれません。全体的に子どもも良く見ていたので良かったです。

ペープ サート	こうつう あんぜん	ルールの大 切さ	4歳 児	1/15 (月)	12: 30～	内容については良かったと思います。子どもの人数が多い場合には紙芝居のサイズがもっと大きい方が見やすいのではないかと思います。後、ペープサートが持っているだけになってしまったので、せっかく作ってくださったものなのでもっと動かしたり、上手く使用したらよいと思います。
紙芝居	おっとあぶ ない! モンちゃん キーちゃん	保育室内 の事故防 止	4歳 児	1/17 (水)	12: 00～	子どもへの問いかけの際にいつまでも聞いてしまうと、なかなか話を進められなくなってしまうので、メリハリをつけて進めた方が、進めやすくなるかなと思いました。(導入が長すぎると飽きてしまうこともあると思うので) 保育室内の事故防止にねらいを置いている今回であれば、園内であるものを紙芝居の中に入れて込むのもっと良いかと思いました。

パネル シアター	おそとで あそぶとき は?	屋外での 事故防止	5歳 児	1/15 (月)	12: 45～	・5歳児にとっては、内容が少し幼かったかなと思います。 ・パネルシアターはそれほど頻繁に使用しないので、興味は持って見ていました。 ・人形(動物)が新聞紙から出てくるのはちょっともったいないなと思いました。
ペープ サート	とけい	時間につ いて	5歳 児	1/16 (火)	12: 45～	・時計に興味関心が強いので、得意になって受け答えをしていて、たくさん褒めていただいたのが良かったです。クイズ形式も大好きな子ども達です。
紙芝居	しらないひ とに きをつけて	不審者へ の対応	5歳 児	1/17 (水)	12: 45～	・手遊びはいつも「何か新しい物をやって頂けないかな～」と楽しみにしています。なかなか発掘できないので私達も勉強になるのです。ぜひ若い感覚の物を教えて下さい。 ・お手製の紙芝居、尊敬のまなざしでした。内容も興味深く、よく引き込まれていて、皆で声を合わせて「助けて」というのも良かったです。ただ、悪い人が変そうしていましたが、本当に悪い人はむしろ優しくなう姿で近づいてくるので、私たちは子どもに伝える時、気を付けるようにしています。
紙芝居	こうつう あんぜん	交通ルー ルについ て知る	5歳 児	1/19 (金)	12: 45～	紙芝居が楽しい仕掛けがいっぱいで、素晴らしいかったです。配慮の必要な子どもに対して、とても上手な対応で驚きました。やりにくいことが多かったと思います。ありがとうございました。楽しみながら交通ルールを学べる素敵な教材でした。

資料5 「あゆのこ保育園保育士からのコメント」



「タイトル」(実施クラス) コメント

「パンダ銭湯」(2歳児クラス)	
学生1	2歳児で銭湯などの言葉がまだ理解できないのではないかと思います、少し不安でしたが興味津々に子どもたちが見ている姿をみて安心しました。紙芝居とパペット両方同時に使用したので、注目してほしい時の工夫をもう少しするべきだったと感じました。ありがとうございました。
学生2	2歳児での発表だったため、清潔の大切さについてどう伝えればいいのか言葉選びに難しさを感じました。パペットを私は手にはめていたのですが、はめるときに指がなかなか入らず、しっかり入っていなかったため動かすのが大変でした。そのため紙芝居の内容に合わせてあまり動かすことができなかったのが反省点です。良かった点としては着替えの場面で「次は何か？」と子どもたちに問いかけたり、体を洗う場面では「ゴシゴシ」と言いながら、パペットをはめていないほうの手で体を洗い、子どもたちの注目を集められたことです。子どもとのやりとりを楽しみながら発表ができたと思います。今回の井上美憂さんの発表は紙芝居だけでなくパペットを使って話を進めていくというアイデアでこんな発表の仕方もあるんだと勉強になりました。またこの発表を通しての反省点や保育者からのコメントから学んだことを生かし、これからの保育に繋げたいと思いました。良い経験になりました。ありがとうございました。
学生3	紙芝居の内容的にまだ早かったようで意味を理解している子が少なく感じました。パペットを使用したのですが、パペットの導入がほとんどなかったため紙芝居を読む前にパペットの紹介などすれば良かったと思いました。就職前に子どもと関わる最後の機会だったので貴重な体験になりました。ありがとうございました。
学生4	1/17に行った「あゆのこ15分ステージ」では、紙芝居の『パンダ銭湯』をパペットを用いて発表しました。その中で私は導入の手遊びを担当し、「パンダ・ウサギ・コアラ」を子どもたちと一緒に行いました。初めに、手遊びを知っているかどうか子どもたちに尋ねたところ、知っているのはクラスの3分の1程度だったため「パンダはどうやるかな？」など子どもたちに尋ねながら手遊びの説明を行いました。尋ねながら進めたため、子どもたちにも「一緒に」という気持ちが強くなったようで途中から歌いながらやってくれる子どももでてきて、上手く子どもの興味を引けたのではないかと思います。また、紙芝居を行う際に立ったままであったため、膝立ちで行った方が見やすかったのではないかと思います。
「朝ごはん」(3歳児クラス)	
学生5	子どもは私たちの問いに答えてくれたのでやりやすかったです。ですが、私の問題のとの間の問いかけをあまりスムーズに出来なかったです。この経験を次へ生かしていきたいです。
学生6	昼食後のお忙しい時間を頂き、発表の機会をありがとうございました。子どもたちの元気がとても伝わってきました。どんぐり組の子どもたちも楽しみながらパネルシアターをみていたので発表側としても楽しむことが出来ました。環境構成として廊下側を背景にしないためカーテンを閉めた窓側を設定して頂いたのかなと感じました。パネルシアターを床に置いてしまい子どもたちの目が床に行ってしまったことが反省点です。短い時間でしたが貴重なものをありがとうございました。
学生7	<ul style="list-style-type: none"> <li>思ったこと：子ども達がパネルシアターを通して楽しく遊んでいる様子が見られたのが良かった。</li> <li>発見したこと：パネルシアターに手を伸ばす子が多いのではないかと考えていたが、みんなしっかり座っていた。</li> <li>うまくいったこと：導入をやった際、子ども達と楽しめ、本題に良い感じで繋がれた。</li> <li>うまくいかなかったこと：子ども達に問いかけた際、沢山の答えが出て騒がしくなってしまった。それをまとめるのに時間がかってしまった。</li> <li>子ども達の様子について：クイズに楽しく参加する子がたくさんいた。みんな落ち着いて座って見ていた。</li> <li>保育環境について：保育室の角をお借りして発表したのですが、スペース的にちょうどよかったので子ども達と良い距離感が保てました。また、子ども達の視線を考えて直前に座って発表する様に変えて出来たのが良かったです。</li> </ul>
「うっかりウサギとたしかめカメさん」(3歳児クラス)	
学生8	やって思ったことは、子ども達が私たちの想像していた反応より大きく感じ増した。子ども達の反応を、受け止め切れなかったものもありましたが、とても良い経験をさせて頂いたと感じました。また、まとめ方も少し曖昧で、反応が薄い場面もあったのでこの経験を生かして、次も頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。
学生9	やってみて良かったことは、自分が作った動物のお尻のペープサートが子ども達にどのくらいいうけるのかが分かりました。クイズは簡単なので乳児向けかなと思っていたのですが3歳児にもとても人気がありました。上手くいったことは、パネルシアターをした際にパネルに貼らない絵を床に置かずパネルの後ろで手で持って隠したことです。今までの経験で床に置いてしまうとそこに注目してしまい話に集中してくれなくなってしまうので上手く隠して良かったです。上手くいかなかったことは、スムーズに出来なかったことです。子ども達の反応に耳を傾けると、きりがなくなり中々次にいきませんでした。子どもの様子について感じたことは、静かに集中して話を聞いていると感じました。しかし1人が喋るとそれにつられて色んな子が喋りだしてしまいました。

資料6 発表学生のコメント(保育士からのコメントを受けて)

学生 10	あゆのご保育園の先生方のコメント通り、複数で、パネルを移動させていたため手が交差してしまい子ども達にとって見えにくくなってしまった場面がありました。複数でパネルを移動するときは事前練習をもっとしておくべきだったと反省しました。導入のクイズでは、みんなが答えを次々に言う中で答えを言ってしまうたり、次のクイズにいらしてしまったりする場面があったので、子ども達が静かになった状態で次のクイズに入れるような声掛けが出来れば子ども全員が楽しめたクイズになったのではないかと思います。これから始まる研修に向けて課題を沢山発見出来たステージになりました。ありがとうございました。
学生 11	今回、発表させていただいてとてもいい経験ができました。練習が前日のみになってしまい、スムーズにできなかったのと、3人でパネル板を囲い行ったため子どもたちが見にくい状況になっていたのが反省点です。この反省点も、経験しなければ気づかなかったことで、とても勉強になり、就職した際にも気をつけていきたいと感じました。ありがとうございました。
「こうつうあんぜん」(4歳児クラス)	
学生 12	今回、初めて手作り紙芝居を作成しました。内容が伝わるような絵になっているか心配でしたが、子ども達は集中して見てくれたので嬉しかったです。私の問い掛けに対し、子ども達はよく答えてくれました。しかし、盛り上がりすぎて私が上手く対応出来ないこともあったので、内容にメリハリを付けることの難しさと大切さを学びました。お忙しいところお時間として頂き、ありがとうございました。
学生 13	先日はお忙しい中、お時間を作ってください、ありがとうございました。2歳児の子も4歳児の子も手遊びを一緒に楽しそうにやっていたり、私たちの問いかけに元気よく反応してくれたり、とても嬉しかったです。しかし、4歳児クラスで、紙芝居の途中子供に問いかけをしているときに盛り上がり騒がしくなってしまう、収集がつかなくなってしまったので、問いかけたままにしないで、少ししたら質問を切り上げてお話に戻すなどしたほうが良かったと反省しました。今回の発表の経験をこれからの保育に活かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。
「おっとあぶないモンちゃんキーちゃん」(4歳児クラス)	
学生 14	発表を通して実習後はじめての子どもと関わる時間だったので、少し緊張してしまいました。「高いところの危険」で発表を行いました、「保育室内の事故」についてももう少し触れれば良かったと先生方のご指摘から学びました。ですが、子どもの前に立つと自然と笑顔になり元気をもらえました。現場でも活用できる紙芝居なので、次回はオリジナルの紙芝居も制作したいと思います。反省点は沢山ありましたが、これらを活かして現場でも改善していきたいと思います。
学生 15	先日は、あゆのこ15分ステージをさせていただき、ありがとうございました。発表を通して、先生方からご指摘があったように最初の導入が長くなってしまったので、もう少し全体の時間配分に気をつけ、実際の子どもの様子を自分たちで考え対応できるようにするべきでした。けれど、子どもたちに問いかけをした際に子どもたちが積極的に答えてくれたので、とても嬉しかったです。今回の反省点を改善できるようにこれからの保育で活かしていきたいと思います。
学生 16	感じたこととしては、・静かに聞いてくれた・反応するところはきちんと反応してくれた・子どもたちの勢いに負けてしまったと感じ反省した事です。
「知らないひとにきをつけて」(5歳児クラス)	
学生 17	先日は、造形発表の場を設けてくださり、ありがとうございました。子どもたちが、手作りの紙芝居を見て「お姉さんが描いたの?」「すごい」と興味を持ってくれたことが予想外で、こちらも楽しみながら読み聞かせをすることができました。今回、不審者の対応について伝えることを意識しましたが、不審者がどのような人であるのかということも伝える必要があったと、発表を通して学ぶことができました。導入で行う手遊びも、新しいものを取り入れて、子どもが興味を持てるような工夫をしていきたいと感じました。今回の学びや反省を活かし、努力していきます。貴重な経験をありがとうございました。
学生 18	先日は、貴重なお時間を頂き、本当にありがとうございました。あゆのご保育園での発表は、導入からこちらの問い掛けに対して、とても元気に答えてくれて、こちらも楽しく行うことが出来ました。そして、不審者の見た目は怖いだけではなく、優しい見た目の不審者がいるということ、今後そのような機会があれば子どもたちに伝えていきたいと感じました。
学生 19	実習が終わってから子どもと関わる機会があまりなく、久しぶりに子どもの前に立ち子どもと関わりました。子どもたちは本当に素直で思ったことをきちんと言葉として伝えてくれて、私自身も楽しく発表をすることができました。私は不審者として変装をして子どもたちの前に立って、「知らない人にはついていけないようにしましょうね」などと伝えたのですが、発表が終わったあとに保育士の方が「怖い人はお姉さんみたいなお洋服で、優しいお顔で声をかけてくるかもしれないのよ」と子どもたちに伝えていました。不審者は不審者らしい格好で子どもたちの前に現れるとは限らないということを発表を終えるまで私達も気づかず、1番伝えなければならないことが抜けてしまっていました。子どもたちの前に立って話す時は、本当にこの内容で良いのか、わかりやすい表現になっているか、きちんと考えてから話すことが大事だと改めて学ぶことが出来ました。またひとつ貴重な体験が増え、自分の中の学びとなりました。ありがとうございました。

「おそとであそぶときは」(5歳児クラス)	
学生 20	子ども達の前で絵本や紙芝居の読み聞かせは、やったことがあったのですがパネルシアターのように子ども達とやり取りをしながら進めていくようなことをしたのは初めてだったので、とても難しいと感じました。思っていたより子どもとパネルの距離が近くて子どもが触りたくなってしまったり前の方の子どもは少し見えづらかったかなと思いました。パネル上だけでなく、パーツを出すところから新聞紙ではなく工夫するべきだったかなと反省しています。貴重な機会をいただきありがとうございました。
学生 21	今回の発表では貴重な時間を頂き、ありがとうございました。交通安全について5歳児に発表をしましたが、とても意欲的に問いかけに対して答えてくれる姿や元気に手を挙げる姿が見られとても嬉しい気持ちになりました。就職前に子どもたちと触れ合えるとても良い経験となり、子どもたちと楽しい時間を過ごすことが出来て良かったです。また、実際にやってみて、当日の直前までどこで行うのか、広さはどれくらいなのかがわからなかったのが当日準備に少し時間がかかってしまいました。さらに、小道具と子ども達との距離が近かったため触ってしまったり見にくそうな姿がみられたので環境構成の大切さを改めて感じました。
学生 22	先日はお世話になりました。久しぶりに子ども達と触れ合う事ができてとても楽しかったです。子ども達が元気に質問に答えてくれたのでとても嬉しかったです。また、パペットを使うのは初めてで戸惑ってしまうこともありましたがとても良い経験になりました。ありがとうございました。
「とけいのおはなし」(5歳児クラス)	
学生 23	先日はお忙しい中子どもたちの前に立つという貴重なお時間を頂きありがとうございました。導入のとけいのうたの手遊びから始めさせて頂いたのですが、子どもたちが楽しそうに元気に一緒に手遊びをしてくれた姿を見て私もとても楽しい気持ちになりました。その後のとけいのペープサート、紙芝居を使ったお話も興味津々に聞いてくれて嬉しかったです。予定の時間より早く終わってしまったので、私たちの問い掛けに対して元気よく答えてくれた子どもたちの声をもっと受け止めて、答えられたらよかったなと感じました。また、5歳児のこの時期はとけいを理解している子ども達が多く、とけいクイズも迷うことなくすぐに答えてくれる子が多いと感じました。一瞬だけとけいを見せる等少し難易度を上げてみてよりよかったと反省しました。私達がこの部屋にはどこにとけいがあるか問い掛けると子ども達はすぐにいくつかのとけいの場所を教えてくださいました。普段からとけいを見て行動しているのだと、とけいへの関心の高さに驚きました。今回の発表を通して自分達で作った作品を子ども達と共有することの楽しさ、達成感や5歳児のとけいへの興味関心の高さ等様々な事を学ぶことができました。貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。
学生 24	造形の授業で作ったものを使うということで、現場でどのように使えるのかを考えながら実践することができました。授業で作って終わりではなく、実際に現場で使うことができて良かったです。パペットが子どもたちの目を惹くものだということが分かり、就職してから子どもたちに向けての教材としてどのように使えるのかなど見通しを立てることができました。最後の実習が終わってから時間が空いてしまっていて久しぶりの現場で少し緊張したのですが、子どもたちの反応もとても良くリラックスして臨むことができました。手遊びも歌も元気よく歌ってくれて良かったです。しかし、5歳児にしては少し簡単な内容すぎてしまったと反省しています。5歳児が時計についてどのくらい理解しているかを把握していなかったことが問題だったと思います。現場に出たら計画の時点でもっと年齢のことを考慮できるようにしていきたいです。現場に出る前に良かった点や反省点も含めて良い経験になりました。
学生 25	先日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。「とけいのおはなし」というテーマで、自分は導入の手遊びでピアノを弾かせて頂きました。子どもたちが手遊びを知らなかった場合戸惑ってしまうか不安な面もありましたが、子どもたちの一生懸命な姿と賑やかな様子に助けられました。今回15分という時間を頂いた中、7～8分で終わってしまったことが反省点です。もっと事前に下準備をし、早く終わった場合の対応などを考えておくべきだと感じました。そして5歳児が今の時期、時計についてどれほど理解しているかを考え直す必要があると感じました。
「カモのおひっこし」(5歳児クラス)	
学生 26	この度はお忙しい中、発表させて頂く機会を設けてくださりありがとうございました。私が発表させて頂いた紙芝居は設定もストーリーも全てオリジナルです。私としては子ども向けに分かりやすく交通ルールを学べるように作成したつもりでしたが、実際に子どもに見せるのは初めての経験だったので、子ども達がどんな反応をするのか不安でした。発表中、子ども達に反応してほしいと考えていた場面以外でも子ども達はとてもよく反応してくれました。今回の発表で、自分が作った作品を子どもが楽しむ様子に喜びと達成感を感じました。さらに、子どもに呼びかけた後の收拾がつかないときの対応など、反省点も見つかりました。今後は、この経験と反省を踏まえて様々なことに挑戦していきたいと考えております。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。
学生 27	この度は発表をさせて頂きありがとうございました。私たち自身も楽しみながら子どもたちへ交通安全について伝えられたと感じます。また、子どもたちも仕掛けの紙芝居に興味を持ち、楽しく参加してくれて良かったです。15分という短い時間でしたが、とても良い機会となりました。ありがとうございました。
学生 28	先日は時間を作って発表を見てくださり、ありがとうございました。とても子どもたちが元気で、質問にもきちんと受け答えしてくれたり、歌も一緒に歌ってくれたりして、子ども達の笑顔や反応がたくさん返ってきてやって良かったな、と思いました。ありがとうございました。

Upbringing of modeling expressive ability by crossing cooperation of  
the class “Healthy guidance” and related facilities in a college.

- Through 15 minute stage at “Ayunoko nursery school” -

Shuhei OTSUKA, Daisuke OGASAWARA

**【abstract】**

I make students individual think about teaching materials needed at a nurture site and producing that in the class “Plastic art 2” every year. And students work on two stage expression through “15 minute stage at Ayunoko nursery school”.

I tried so that students could get practicing more learning by collaboration with the class “Healthy guidance” and “Ayunoko nursery school” this time.

**【key words】**

Plastic art, Stage expression, Crossing cooperation of nursery school